

ベストクラス選定理由書

作成者：佐伯結衣、有本夏緒、黒川真優、中牟田若葉、大谷真司、藪内里奈、小林雄一郎、塩晃、山中一英

科目名称：初等体育（②クラス）		（担当教員名：森田 啓之、西岡 伸紀）	
課程：学部	開講時期：前期		
授業形態：講義・演習	授業規模：81人以上		
インタビュー対象教員名：森田 啓之 （実施日時：令和4年8月19日（金）10：40～11：30；実施場所：オンライン）			
インタビュー対象受講者名：黒川 真優、佐伯 結衣 （実施日時：令和4年8月19日（金）10：40～11：30；実施場所：オンライン）			
<p>選定理由</p> <p>本授業では体育科における教育観、指導観を醸成することを目指し、体育授業をするにあたって必要な認識を培い、体育科の目標構造（どのような目標を掲げて実践すべきか）、並びに内容編成の考え方（目標達成に向けてどのような内容が設定されているか）について理解し、「学習指導要領体育科編」をもとに、小学校体育授業の基本的考え方と方向性について、具体的実践を引き合いに出しながら学ぶことが企図されている。授業評価での自由記述ならびに教員と受講者へのインタビュー調査から、このねらいを達成すべく効果的な取組が実践され、受講者もそこに積極的に関与した様子がうかがえた。</p> <p>1. 教員の課題設定と受講者への関わり</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のためZoomを用いたオンライン授業がほとんどであったが、Zoomのアイコンが変わっている人に話しかけたり、チャットを活用したりするなど、常にコミュニケーションを怠らず、受講者の意見を取り入れ、講義が一方通行とならないように仕組まれていた。また、教員が作ったレジュメを事前に読んでおくスタイルは、講義がスムーズに進行できるために有効であり、事前学習の内容を共有することで受講者の学びがさらに深まることも狙いとされている。受講者に安心感を与える教員の人柄だけではなく、様々な仕掛けがなされていたことが、受講者がオンライン授業であっても楽しいと感じている理由であると考えます。</p> <p>2. 受講者の課題への関与と学び</p> <p>『体育に関する考え方や自分の意識を変えることができた』『オンラインでの授業であったが、意見を出す場面が多く設けられており積極的に参加することができた』『映像教材や授業内での会話があることで楽しく受講することができた』受講者から出てきたこれらの意見から、本授業が受講者にとって深い学びを得ることのできる授業であったこと、また学生が積極的に参加する授業作りの工夫等がうかがえた。加えて教員と受講者のコミュニケーションが多く取れた授業であったことがよく伝わってきた。インタビュー内で語られた『一年時では体育に対する価値観の変容を狙っている』という教員のコメントに関して受講者の意見から、ねらいにそった授業であったと考えられる。</p> <p>インタビュー内でも本授業について楽しかった、面白かったというような声が沢山上がっていた。教員と受講者がコミュニケーションをとり、互いに敬意を持ちながら授業を進めていることがうかがえた。</p> <p>以上のことから本授業を令和4年度「ベストクラス」として推薦する。</p>			